

市立伊勢総合病院

○ 業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとした地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保や新型コロナウイルスワクチン接種を始めとした、新型コロナウイルス感染症への対応を図るとともに、地域医療の確保及び予防医学に取り組んだ。また、安全・安心で高度な医療を提供するため、内視鏡カメラシステム、皮膚色素疾患治療器及び液状化検体細胞診標本作製装置等の整備を行った。

利用状況は、入院患者数 79,877人（1日平均 219人）、外来患者数 126,775人（1日平均 524人）、健診者数 14,737人（1日平均 52人）となった。前年度と比較すると、入院患者数で 1,054人、外来患者数で 3,670人、健診者数で 1,510人それぞれ増加した。

収支状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額 8,698,045,065円（対前年度比 4.1%増）に対して、支出額 8,427,408,313円（対前年度比 1.5%増）となり、差引 270,636,752円の純利益が生じた。また、医師及び看護師奨学金の返還債務の免除により発生した資本剰余金の処分額 29,400,000円を含め、当年度未処理欠損金は 1,848,298,325円となった。前年度と比較すると、収入においては、患者数の増加や診療単価の上昇により、入院収益、外来収益及び健診収益で増収となり、新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金についても増収となった。一方、支出においては、特別損失の計上等により増額となった。

資本的収支においては、収入額 578,397,000円、支出額 942,052,466円の執行となった。

今後も、新病院建設による企業債償還金、減価償却費のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい病院経営となることが予測されるが、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、病院経営の健全化に取り組んでいく。

1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	医療 技術職	看護職	事務 その他	計	会計年度 任用職員	合計
	人	人	人	人	人	人	人
令和3年度	54	(1) 93	(5) 251	(2) 32	(8) 430	167	(8) 597
令和2年度	52	(2) 91	(4) 249	(2) 33	(8) 425	159	(8) 584

* () は、外書きで再任用短時間勤務職員を表す。

2 経理の状況

(1) 令和3年度伊勢市病院事業損益計算書

令和 3年 4月 1日から 令和 4年 3月31日まで			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	円 8,427,408,313	病院事業収益	円 8,698,045,065
医業費用	7,788,818,889	医業収益	6,143,362,111
給与費	4,189,451,549	入院収益	4,096,538,138
材料費	1,327,876,359	外来収益	1,852,890,059
経費	1,228,016,129	他会計負担金	56,658,000
減価償却費	999,550,493	その他医業収益	137,275,914
資産減耗費	755,171	健診収益	334,941,903
研究研修費	43,169,188	健診収益	334,941,903
健診費用	199,319,792	医業外収益	2,219,741,051
給与費	137,812,835	他会計補助金	444,879,400
材料費	6,260,983	他会計負担金	463,107,000
経費	39,057,556	県補助金	783,971,350
減価償却費	16,188,418	国庫補助金	16,058,907
医業外費用	375,506,632	長期前受金戻入	463,677,656
支払利息及び 企業債取扱諸費	62,021,323	その他医業外収益	48,046,738
雑損失	262,943,202		
負担金	23,694,307		
医業外雑費	26,847,800		
特別損失	63,763,000		
その他特別損失	63,763,000		
当期純利益	270,636,752		
合 計	8,698,045,065	合 計	8,698,045,065

(2) 令和3年度伊勢市病院事業貸借対照表

		令和4年3月31日	
借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
固定資産	円 17,184,858,843	固定負債	円 12,894,084,809
有形固定資産	16,710,899,030	企業債	11,185,461,373
土地	1,572,578,736	建設改良等企業債	11,185,461,373
建物	12,588,711,881	引当金	1,708,623,436
減価償却累計額	△1,186,835,174	退職給付引当金	1,708,623,436
構築物	1,530,514,503	流動負債	1,464,615,402
減価償却累計額	△138,730,484	企業債	693,871,542
器械備品	5,194,421,695	建設改良等企業債	693,871,542
減価償却累計額	△2,853,112,282	未払金	526,704,901
車両	11,129,691	医業未払金	412,826,001
減価償却累計額	△7,779,536	未払消費税	18,515,500
無形固定資産	3,562,685	その他未払金	95,363,400
電話加入権	3,562,685	引当金	241,458,000
投資その他の資産	470,397,128	賞与引当金	203,172,000
長期貸付金	319,305,000	法定福利費引当金	38,286,000
基金	151,092,128	その他流動負債	2,580,959
流動資産	2,169,086,895	預り金	1,580,959
現金預金	912,345,630	預り保証金	1,000,000
現金	1,285,000	繰延収益	1,566,307,886
預金	911,060,630	長期前受金	3,420,961,762
未収金	1,216,396,435	長期前受金収益化累計額	△1,854,653,876
医業未収金	1,099,312,155	資本金	4,254,000,000
医業外未収金	196,230,740	剰余金	△825,062,359
その他未収金	300,000	資本剰余金	1,023,235,966
貸倒引当金	△79,446,460	受贈財産評価額	141,807,695
貯蔵品	40,344,830	他会計補助金	89,845,648
薬品	15,826,018	工事負担金	53,395,358
診療材料	21,654,216	寄附金	56,925,100
その他貯蔵品	2,864,596	他会計負担金	681,262,165
		欠損金	1,848,298,325
		当年度未処理欠損金	1,848,298,325
合計	19,353,945,738	合計	19,353,945,738

3 病院利用状況 令和3年度

診療科目	入院	外来
内科	人 24,068	人 28,368
循環器内科	6,561	5,601
外科・消化器外科	6,412	8,298
整形外科	20,975	26,312
形成外科	782	1,765
皮膚科	1,646	9,876
泌尿器科	2,763	10,134
婦人科	—	2,838
小児科	—	96
耳鼻いんこう科	—	729
眼科	1,242	6,639
精神科	—	2,868
脳神経外科	—	230
歯科口腔外科	1,572	11,826
放射線科	—	3,282
麻酔科	—	891
脳神経内科	4,038	6,028
ホスピス科	2,304	19
リハビリテーション科	7,315	829
呼吸器外科	199	146
計	79,877	126,775

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規 格	金 額	備考
3. 4. 28	陰圧式エアーテント	日本船舶薬品（株） NP-66	円 7,700,000	※
3. 5. 31	生物顕微鏡	オリンパス（株） BX43	1,287,000	
4. 1. 7	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ（株） GIF-1200N	3,410,000	
4. 2. 22	コンベックス型プローブ	GEヘルスケア・ジャパン（株） C1-6-D	1,430,000	
4. 3. 1	眼科用ヤグレーザ手術装置	（株）ニデック YC-200 S plus	4,840,000	
4. 3. 17	関節鏡専用（膝・肩）鉗子等	ジンマー・バイオメット（同） マイクロ剪刀 02-1001-100-00他	1,729,860	
4. 3. 18	除細動器	日本光電工業（株） TEC-5631	4,180,000	
4. 3. 18	皮膚色素疾患治療器	（株）ジェイメック ザ・ルビー Z1 Nexus	10,670,000	
4. 3. 24	滅菌コンテナ	ビー・ブラウンエースクラップ（株） JP111他	5,280,000	
4. 3. 24	無停電電源装置バッテリー	アライドテレシス（株） APCRBC145J他	1,185,250	
4. 3. 25	骨手術器械システム	ジンマー・バイオメット（同） ミニドライバー PR08500SB他	9,130,000	
4. 3. 29	液状化検体細胞診標本作製装置	ホロジックジャパン（株） ThinPrep5000プロセッサ	10,670,000	
4. 3. 30	電動ベッド	パラマウントベッド（株） KA-8332	1,551,000	
4. 3. 31	内視鏡カメラシステム	カールストルツ・エンドスコープ・ジャパン（株） IMAGE1 S RUBINA	19,250,000	
4. 3. 31	炭酸ガスレーザ	（株）日本ルミナス AcuPulse 40AES-R	7,953,000	
4. 3. 31	心臓リハビリシステム	フクダ電子（株） RH-1000	4,840,000	
4. 3. 31	臨床情報システム	日本光電工業（株） PRM-7500	3,764,200	

備考欄「※」：新型コロナウイルス感染症対策物品

5 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 内 地	市立伊勢総合病院2階 盛付室ほか排水溝改 修工事	2階盛付室ほか排水 側溝改修一式	円 1,329,900	3. 7. 13	3. 8. 11

○ 医師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師奨学金制度を運用している。

令和3年度卒業の医師奨学生3名は当院に就職し、貸与終了後の医師の安定的な確保に努めた。

<令和3年度 医師奨学生への奨学金貸与状況>

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	0人	2人	2人	2人	2人	3人	11人

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康福祉部と連携して実施する藤田医科大学の寄附講座事業においては、市民に対する介護予防の推進や、医療従事者への教育・指導により、伊勢志摩地域のリハビリテーションの質の向上を図ることができ、常勤のリハビリテーション科医師2名の継続雇用にも繋がっている。さらに形成外科、内科（総合診療科）の常勤医師として、後期研修医を1名ずつ確保するなど、若手医師を中心とした医師確保に努めた。

初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、4名（医師奨学生3名を含む）が当院に就職した。

○ 地域医療連携関係

1 病診・病病連携

紹介患者の予約受付時間を引き続き18時30分まで1時間30分延長し、開業医からの要望に対応するとともに紹介患者の増加に繋がった。

地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を支援し、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、三重県より承認された『地域医療支援病院』の承認の継続に向け、紹介患者数の増加に努めるとともに、地域の医療従事者の質の向上のための研修会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修会についてはオンライン形式での開催や研修動画を当院のホームページにてYouTube配信を行った。

リハビリテーション科医師・専任の社会福祉士等が大腿骨頸部骨折地域連携パス連携会議（まいわし医療連携会）に出席し、紹介元医療機関及び地域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関と連携し、治療経過の共有を行い、患者に切れ目のない質の高い医療を提供した。

<診療所等からの紹介患者数>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	人 951	人 719	人 929	人 849	人 871	人 843	人 1,034	人 920	人 932	人 902	人 745	人 988	人 10,683
令和2年度	761	627	939	1,001	873	926	963	966	936	787	756	992	10,527
令和元年度	988	1,064	1,109	1,149	996	986	1,114	1,029	1,067	1,013	872	980	12,367

2 患者相談

患者相談においては、患者支援センターに社会福祉士4名・看護師3名を配置し、入院前・入院時における患者・家族等への支援を通じ、早期・円滑な相談対応、入退院支援に介入できる体制を構築した。また、ホスピス病棟については、専任の社会福祉士を配置し、今年度143件の問い合わせや相談に対応し40名の外来面談を行った。

<患者相談・支援対応件数>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	件 1,276	件 1,082	件 1,270	件 1,148	件 1,234	件 1,234	件 1,222	件 1,170	件 1,126	件 1,262	件 1,098	件 1,331	件 14,453
令和2年度	1,079	834	999	1,092	990	1,023	1,228	1,084	1,114	1,132	1,111	1,398	13,084
令和元年度	515	597	664	777	739	647	687	685	801	823	797	926	8,658

○ 健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

本年度も昨年度に引き続き、関連学会等の指針に基づく新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、受診者が安心して健診等を受けていただけるよう最善を尽くすとともに、高まる女性受診者のニーズに対応すべく、土曜日の乳がん検診（月一回）を令和3年11月から開始した。受診者数は14,737人で、前年度と比較すると1,510人の増加となった。

健診等の結果が要精密検査や要経過観察の判定となった方には、二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。担当医師を増員したことで、二次検査受診者数は前年度と比較すると358人の増加となった。

1 受診者状況

区分	開設日数	受診者数			
		人間ドック	健診等	その他	計
令和3年度	283 日	7,017 人	7,223 人	497 人	14,737 人
令和2年度	267	5,854	6,814	559	13,227
令和元年度	286	7,016	7,256	535	14,807

※人間ドック…胃検査、脳ドックを実施したコース

※健診等…胃検査、脳ドックを実施しなかったコース

※その他…インフルエンザ、破傷風、B型肝炎等ワクチン接種、B型肝炎検査他

2 二次検査受診者数

区 分	受診者数（延べ）
令和3年度	1,920 人
令和2年度	1,562
令和元年度	1,621

○ 新型コロナウイルス感染症対策関連

新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

1 感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保

・期 間 令和3年4月1日から令和4年3月31日

(2) 感染防止対策物品の整備

・陰圧式エアートント（NP-66）（「業務の概要 4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）備考「※」参照」）の整備を図った。

(3) 正面玄関、時間外出入口及び職員通用口での発熱チェックの実施

・期 間 令和3年4月1日から令和4年3月31日

2 新型コロナワクチン接種

(1) 伊勢総合病院内に設置の特設会場（伊勢総合病院による接種）

・実施期間 令和3年4月5日から令和4年3月30日

・実施日数 146日

・接種回数 27,819回

(2) いせトピア会場（伊勢総合病院による接種）

・実施期間 令和3年5月29日から令和3年9月25日

・実施日数 16日

・接種回数 3,427回

3 療養環境

(1) オンライン面会の実施

・期 間 令和3年4月1日から令和4年3月31日

・件 数 306件

4 診療体制

(1) 電話による再診

・期 間 令和3年4月1日から令和4年3月31日

・件 数 270件

5 新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金収入額

区 分	補助金収入額		計
	収益的収入	資本的収入	
県補助金	円 780,005,350	円 300,000	円 780,305,350
国庫補助金	12,250,000	0	12,250,000
他会計補助金 (一般会計繰入金)	12,300,000	7,700,000	20,000,000
計	804,555,350	8,000,000	812,555,350

○ その他

1 健康保険オンライン資格確認の導入

令和3年10月から健康保険のオンライン資格確認を導入した。マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようになり、患者の利便性向上を図った。